

広島市長杯・第14回ヤングひろしまピース親善大会について
(要点のみ)

- ① 開会式には、代表・監督・コーチは所定の位置に整列し、チーム紹介の時に代表（不在の場合は監督）は数歩前に出て一礼をする。開会式終了後、選手が退場するまでは役員・指導者は退場しないこと。
- ② 試合会場へ到着したら球場責任者からメンバー表と投手登板回数報告書（投球回数記録一覧表）を受け取る。
- ③ 試合前のメンバー表交換は5部提出する。（交流戦のメンバー表は自チーム様式）
試合前の内野サイドノックは土のところで言い、外野ノックを行う場合のノッカーは土のところから打つ。
- ④ 中国地区（岡山・広島・山口）の参加チームは自チームの試合に塁審1名を配置する。交流戦においては対戦チームの出し合いとする。
- ⑤ 7回時間制限無しとし、7回終了時同点の場合は決着がつくまでタイブレークゲームを採用する。（投手の投球回数を継続し厳守する）
※運営上の状況により変更の場合は事前に連絡する。
- ⑥ 試合開始前の選手挨拶には監督も参加し握手する。
- ⑦ 投手投球回数については中学生投手の投球制限に関する統一ガイドラインの制定による。
- ⑧ マネージャー（スコアラー）は試合終了後直ちに自チームの投手登板回数の報告を書面にて球審へ提出する。
- ⑨ 監督・コーチが選手にアドバイスをするときは、ファールラインのところで行う。
- ⑩ コーチボックスにはヘルメットを着用し選手のみが位置する。
- ⑪ 本大会の球場は、グラウンド以外（通路・一般の利用者がいる場所等）での素振り、キャッチボールは禁止されているので厳守すること。
- ⑫ 本大会は、4連盟参加であり、ヤングリーグ大会時に行う試合前審査は行わず、審判による用具のみの審査とする。
- ⑬ 二日目については別紙、開会式ご案内その他欄に明記。
- ⑭ その他 大会規定詳細については別紙の通りとし、確認事項があれば、大会事務局へ連絡すること。
※悪天候および球場使用の都合により試合開始時間を変更する場合がある。